

アースパルKOBÉ

# オープンセミナー2014

11月1日(土) in 兵庫県民会館

講師

独立行政法人

国立環境研究所

主任研究員 藤野純一氏

エコに  
携わる方  
必聴!

## 演題 「低炭素社会について

## 考えてきたこと・考えていること」

— エコ活動で地域の価値を高めよう —



藤野純一(ふじの じゅんいち)  
工学博士(電気工学)  
国立環境研究所  
社会環境システム研究センター  
持続可能社会システム研究室  
主任研究員

1972年5月23日生

2000年3月 東京大学大学院 工学系研究科  
博士課程(電気工学専攻)修了

2000年4月 環境庁国立環境研究所入所

2003年4月 国立大学法人北陸先端科学技術  
大学院大学 知識科学研究科  
客員准教授(併任)

国内外の多くのプロジェクトで幹事として活躍され、日本における低炭素社会への関心を高め、政府のクールアース構想や低炭素社会づくり行動計画の政策立案に貢献されました。

また、国際シンポジウムの主催、研究成果のとりまとめに尽力され、これら結果が締約国会議(COP)や2008年3月に千葉で行われたG20会合、2008年5月に神戸で行われたG8環境大臣会合に報告され、国際低炭素社会研究ネットワーク(LCS-RNet)構築につながっています。

国内50名程度の研究者から構成されるアジア低炭素社会シナリオ研究プロジェクト(環境省地球環境研究総合推進費戦略研究S-6)でも幹事を担当され、アジア主要国の低炭素社会シナリオ構築を目指しておられます。

分りやすい語り口で、豊富な経験や実例のご紹介を通し、地域、グローバルの環境活動の今が見えてきます。特に地域でエコ活動に携わる方たち必聴のセミナーです。

### セミナー要旨(講師の想い)

ここ10年、いや20年ほど、エネルギー・温暖化対策の社会経済技術シナリオを通じて低炭素社会について考えてきた。

考えれば考えるほど、低炭素社会ありきで温暖化対策を実現することの難しさを感じていたところ、東日本大震災が起こった。自分なりに飯館村の復興計画づくりやふくしま会議の実施などを通じて福島の問題に関わっている。

また、ジョホールバル市を中心とするイスカンダル・マレーシア地域、ホーチミン市やアジアの国を対象にした低炭素社会シナリオ及び政策づくりを現地の専門家や行政担当者と進めている。

自らが辿ってきた道筋を紹介しながら、悩みを披露することで、地域の価値を高めながら低炭素社会を実現することができないか、一緒に考える機会になれば幸いです。

【日時】2014年11月1日(土)

13:30~16:40 受付開始 13:00

【定員】50名(先着順)

【申込】裏面の申込用紙をFAXくださるか

お名前、ご住所、電話番号を記載の上、

sanka@earthpal-kobe.com宛

【会場】兵庫県民会館 3階 303(裏面)

【参加費】無料

【お問合せ】事務局 090-3675-1393

もしくは上記メール宛



**FAX 078-330-3468**

「低炭素社会について考えてきたこと・考えていること」

お申込用紙

代表者	所属		ご連絡先	住所(必須) 〒	
	ふりがな お名前			電話番号(必須)	FAX
参加者	所属				
	ふりがな お名前				

★お申込の際にいただきました個人情報は、当セミナーの受付・進行のみに使用します。

★効果的なセミナー運営のため、プログラムの内容、進行時間などが一部変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

**【会場地図】 兵庫県民会館**

<http://hyogo-arts.or.jp/arts/kenminmap.htm>

神戸市中央区下山手通4-16-3

TEL 078-321-2131

- JR神戸線・阪神「元町駅」下車・北へ徒歩約7分
- 地下鉄「県庁前」駅下車・東出口1から右へ50m
- 阪急「花隈駅」下車・北へ徒歩約15分

